

#2  
BOX PATENT  
Attorney Docket No. 24593

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:

Inventor: ABE, Toru; YASUDA, Toshiki; FUTAMATSU, Yasunori;  
YOSHIE, Yuko.

Serial No. NOT YET ASSIGNED Filed: April 16 2001

Title: DIGITAL DATA EFFECT PROCESSING METHOD FOR USE ON A NETWORK  
TO WHICH AN EFFECT SERVER HAVING DATA FOR EFFECT PROCESSING AND A  
USER TERMINAL HAVING DATA TO WHICH AN EFFECT IS TO BE ADDED ARE  
CONNECTED

REQUEST FOR PRIORITY UNDER 35 U.S.C. §119

BOX PATENT APPLICATION

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:

In the matter of the above-captioned application, notice is  
hereby given that the Applicant claims as priority date April 20,  
2000 the filing date of the corresponding application filed in  
JAPAN, bearing Application Number P2000-120029.

A Certified Copy of the corresponding application is submitted  
herewith.

Respectfully submitted,

NATH & ASSOCIATES PLLC

Date: April 16, 2001

By: *Gary M. Nath*

Gary M. Nath  
Reg. No. 26,965  
Customer No. 20529

NATH & ASSOCIATES PLLC  
6<sup>TH</sup> Floor  
1030 15<sup>th</sup> Street, N.W.  
Washington, D.C. 20005  
(202)-775-8383  
GMN/sjb (Priority)



JC986 U.S. PTO  
09/834618  
04/16/01

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

Date of Application: April 20, 2000

Application Number: P2000-120029

Applicant(s): VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

March 2, 2001

Commissioner,  
Patent Office

Kozo Oikawa

Number of Certification: 2001-3013216

日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

JC986 U.S. PTO  
09/834618  
04/16/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application: 2000年 4月20日

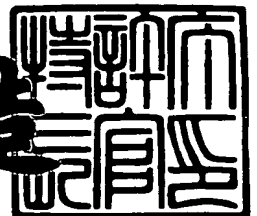
出 願 番 号  
Application Number: 特願2000-120029

出 願 人  
Applicant(s): 日本ビクター株式会社

2001年 3月 2日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3013216

【書類名】 特許願

【整理番号】 412000560

【提出日】 平成12年 4月20日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 13/00

【発明の名称】 ネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理方法  
およびシステム、エフェクトサーバおよびユーザ端末と  
デジタルデータのエフェクト処理プログラムを記録した  
記録媒体、エフェクトサーバおよびユーザ端末における  
処理プログラムを記録した記録媒体

【請求項の数】 8

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 日本ビ  
クター株式会社内

【氏名】 阿部 亨

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 日本ビ  
クター株式会社内

【氏名】 安田 俊樹

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 日本ビ  
クター株式会社内

【氏名】 二松 康紀

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 日本ビ  
クター株式会社内

【氏名】 吉江 裕子

【特許出願人】

【識別番号】 000004329

【氏名又は名称】 日本ビクター株式会社

【代表者】 守隨 武雄

【代理人】

【識別番号】 100083806

【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 秀和

【電話番号】 03-3504-3075

【選任した代理人】

【識別番号】 100068342

【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 保男

【選任した代理人】

【識別番号】 100100712

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩▲崎▼ 幸邦

【選任した代理人】

【識別番号】 100087365

【弁理士】

【氏名又は名称】 栗原 彰

【選任した代理人】

【識別番号】 100079946

【弁理士】

【氏名又は名称】 横屋 赳夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100100929

【弁理士】

【氏名又は名称】 川又 澄雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100108707

【弁理士】

【氏名又は名称】 中村 友之

【選任した代理人】

【識別番号】 100095500

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 正和

【選任した代理人】

【識別番号】 100101247

【弁理士】

【氏名又は名称】 高橋 俊一

【選任した代理人】

【識別番号】 100098327

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 俊雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001982

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9802012

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理方法およびシステム、エフェクトサーバおよびユーザ端末とデジタルデータのエフェクト処理プログラムを記録した記録媒体、エフェクトサーバおよびユーザ端末における処理プログラムを記録した記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザ端末に保存されているデジタルデータに対してネットワークを介してエフェクト処理を施すネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理方法であって、

前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施すための処理プログラムを呼び出すためにWWWブラウザ上で動作する呼び出しプログラムと、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応した複数のエフェクトデータとが格納されたエフェクトサーバがウェブサーバを介してインターネットに接続されており、

前記WWWブラウザと前記処理プログラムとが格納された前記ユーザ端末の前記WWWブラウザを起動して、前記インターネット及び前記ウェブサーバを介して前記エフェクトサーバに接続するステップと、

前記エフェクトサーバに格納されている複数種類のエフェクト処理の内容を前記WWWブラウザを使用して表示するステップと、

前記複数種類のエフェクト処理から所望のエフェクト処理を選択するステップと、

前記呼び出しプログラムと所望のエフェクト処理に対応したエフェクトデータを前記エフェクトサーバから前記ユーザ端末にダウンロードするステップと、

前記ユーザ端末において、ダウンロードした前記呼び出しプログラムを使用して前記処理プログラムを呼び出し、前記デジタルデータに対して前記所望のエフェクト処理を施して出力するステップと、

を有することを特徴とするネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理方法。

【請求項2】 ユーザ端末に保存されているデジタルデータに対してネットワークを介してエフェクト処理を施すネットワークでのデジタルデータのエフェ

クト処理システムであって、

前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施すための処理プログラムを呼び出すためにWWWブラウザ上で動作する呼び出しプログラムと、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応した複数のエフェクトデータとが格納されたエフェクトサーバと、

前記エフェクトサーバに接続され、インターネットを介して接続される端末内の前記WWWブラウザで表示可能なデータを提供するためのWWWアプリケーションを有するウェブサーバと、

前記WWWブラウザと前記処理プログラムとを格納し、前記WWWブラウザを使用することでインターネットを介して前記ウェブサーバに接続される前記ユーザ端末とを備え、

前記ユーザ端末において、前記エフェクトサーバに格納されている複数種類のエフェクト処理の内容を前記WWWブラウザを使用して表示し、前記呼び出しプログラムと選択された所望のエフェクト処理に対応したエフェクトデータとをダウンロードして前記呼び出しプログラムによって前記処理プログラムを呼び出すことにより、前記ユーザ端末に格納されている前記デジタルデータに対して前記所望のエフェクト処理を施して出力することを特徴とするネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理システム。

【請求項3】 サービス提供者端末に保存されているデジタルデータに対してユーザ端末からの処理要求によりネットワークを介してエフェクト処理を施すネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理システムであって、

前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施すための処理プログラムを呼び出すためにWWWブラウザ上で動作する呼び出しプログラムと、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応した複数のエフェクトデータとが格納されたエフェクトサーバと、

前記エフェクトサーバに接続され、インターネットを介して接続される端末内の前記WWWブラウザで表示可能なデータを提供するためのWWWアプリケーションを有するウェブサーバと、

前記WWWブラウザと前記処理プログラムとを格納し、前記WWWブラウザを



使用することでインターネットを介して前記ウェブサーバに接続される前記サービス提供者端末と、

前記サービス提供者端末にインターネットを介してエフェクト処理に関する処理要求を行う前記ユーザ端末とを備え、

前記サービス提供者端末は、前記ユーザ端末から送信される処理要求にしたがって、前記エフェクトサーバに格納されている複数種類のエフェクト処理の内容を前記WWWブラウザを使用して表示し、前記呼び出しプログラムと選択された所望のエフェクト処理に対応したエフェクトデータとをダウンロードして前記呼び出しプログラムによって前記処理プログラムを呼び出すことにより、前記サービス提供者端末に格納されている前記デジタルデータに対して前記所望のエフェクト処理を施して出力することを特徴とするネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理システム。

【請求項4】 ユーザ端末に保存されているデジタルデータに対してエフェクト処理を施すための複数種類のエフェクトデータが蓄積されたエフェクトサーバであって、

WWWブラウザ上で動作し、前記ユーザ端末に保存されている前記デジタルデータに対して、エフェクト処理を施すために前記ユーザ端末に保存されている処理プログラムを呼び出すための呼び出しプログラムを格納している呼び出しプログラム格納手段と、

前記ユーザ端末に保存されている前記処理プログラムでエフェクト処理を行うためのエフェクトデータが、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応する複数のエフェクトデータとして格納されているエフェクトデータ格納手段と、

ネットワークを介して要求されたエフェクトデータと前記呼び出しプログラムとを、ネットワークを介して要求した端末に対して送信するように制御する送信制御手段と、

を有することを特徴とするエフェクトサーバ。

【請求項5】 自機内に保存されているデジタルデータに対してネットワークを介してエフェクト処理を施すネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理を行うユーザ端末であって、

前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施すための処理プログラムを呼び出すためにWWWブラウザ上で動作する呼び出しプログラムと、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応した複数のエフェクトデータとが格納されたエフェクトサーバに接続されたウェブサーバにインターネットを介して接続する前記WWWブラウザと、

前記呼び出しプログラムにより呼び出されて前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施す処理プログラムとを有し、

前記エフェクトサーバに格納されている複数種類のエフェクト処理の内容を前記WWWブラウザを使用して表示し、前記呼び出しプログラムと選択された所望のエフェクト処理に対応したエフェクトデータとをダウンロードして前記呼び出しプログラムによって前記処理プログラムを呼び出すことにより、前記ユーザ端末に格納されている前記デジタルデータに対して前記所望のエフェクト処理を施して出力することを特徴とするユーザ端末。

【請求項6】 ユーザ端末に保存されているデジタルデータに対してネットワークを介してエフェクト処理を施すネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理プログラムを記録した記録媒体であって、

前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施すための処理プログラムを呼び出すためにWWWブラウザ上で動作する呼び出しプログラムと、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応した複数のエフェクトデータとが格納されたエフェクトサーバが接続されたウェブサーバに対して、前記WWWブラウザと前記処理プログラムとが格納された前記ユーザ端末の前記WWWブラウザを起動して接続するステップと、

前記エフェクトサーバに格納されている複数種類のエフェクト処理の内容を前記WWWブラウザを使用して表示するステップと、

前記複数種類のエフェクト処理から所望のエフェクト処理を選択するステップと、

前記呼び出しプログラムと所望のエフェクト処理に対応したエフェクトデータを前記エフェクトサーバから前記ユーザ端末にダウンロードするステップと、

前記ユーザ端末において、ダウンロードした前記呼び出しプログラムを使用し

て前記処理プログラムを呼び出し、前記デジタルデータに対して前記所望のエフェクト処理を施して出力するステップと、

を有することを特徴とするネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理プログラムを記録した記録媒体。

【請求項7】 ユーザ端末に保存されているデジタルデータに対してエフェクト処理を施すための複数種類のエフェクトデータが蓄積されたエフェクトサーバにおける処理プログラムを記録した記録媒体であって、

WWWブラウザ上で動作し、前記ユーザ端末に保存されている前記デジタルデータに対して、エフェクト処理を施すために前記ユーザ端末に保存されている処理プログラムを呼び出すための呼び出しプログラムを格納し、

前記ユーザ端末に保存されている前記処理プログラムでエフェクト処理を行うためのエフェクトデータが、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応する複数のエフェクトデータとして格納し、

ネットワークを介して要求されたエフェクトデータと前記呼び出しプログラムとを、ネットワークを介して要求した端末に対して送信するように制御する

ことを特徴とするエフェクトサーバにおける処理プログラムを記録した記録媒体。

【請求項8】 自機内に保存されているデジタルデータに対してネットワークを介してエフェクト処理を施すネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理を行うユーザ端末における処理プログラムを記録した記録媒体であって、

WWWブラウザ上で動作する呼び出しプログラムによって呼び出され、

複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応した複数のエフェクトデータとが格納されたエフェクトサーバからインターネットを介して送信された所望のエフェクト処理に対応したエフェクトデータを使用して前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施して出力することを特徴とするユーザ端末における処理プログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えばデジタルカメラなどで生成したデジタルデータなどのようなユーザ端末が保存するデジタルデータに対してネットワークを介してエフェクト（効果）処理をかけるネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理方法およびシステム、エフェクトサーバおよびユーザ端末とデジタルデータのエフェクト処理プログラムを記録した記録媒体、エフェクトサーバおよびユーザ端末における処理プログラムを記録した記録媒体に関する。

## 【0002】

## 【従来技術】

例えば、特開平11-203359号公報に開示されている「ネットワークフォトサービスシステム」では、画像などのデジタルデータをユーザが予めネットワークのサーバ上に登録しておき、この登録されたデジタルデータを利用する際にネットワークからダウンロードしている。また、特開平10-302008号公報に開示されている「デジタルコンテンツ流通システム」では、予めデータコンテンツデータベースと加工シナリオデータベースがネットワーク上のサーバに設けられている。

## 【0003】

上述した従来技術においては、前者のようにユーザが画像などのデジタルデータをサーバに登録し、利用時にダウンロードするという手順が必要であったり、また後者でも同様にコンテンツデータと加工シナリオがサーバに設けられていて、利用時にこれらをダウンロードする手順が必要となっている。

## 【0004】

## 【発明が解決しようとする課題】

上述したように、従来は、ユーザが自分の手元にある画像に対してネットワークを利用して何らかの処理を行おうとする場合、対象となるデジタルデータまたはコンテンツをサーバからダウンロードする必要があるとともに、またオフラインの状態から、この処理を行うアプリケーションソフトを予めユーザ端末にインストールしておく必要があるため、ユーザ端末における負荷が増大するという問題がある。

## 【0005】

デジタルデータの処理を行うアプリケーションソフトでは、特にエフェクト処理の種類が増加すればするほど各種エフェクト処理を行うためのデータ量が増加し、個々のユーザにとっては不要なエフェクト処理のためのデータに端末の記憶容量の大半が使用されることになっていた。また、エフェクト処理のためのデータが増加すると、アプリケーションソフトの動作速度も遅くなってしまい、ユーザが使用する際にストレスを感じる恐れがあった。

【0006】

従って、本発明は、ユーザ端末にコンテンツのエフェクト処理を行うプログラムを搭載することなく、デジタルデータエフェクト処理を有するサーバにネットワークを介して接続するだけで必要な処理をデータファイルの形式で選択して利用し得るようにすることを目的とする。

【0007】

また、本発明は、従来のオンラインによる画像サービスのように画像データを予めサーバなどに保存し、利用時にユーザ端末にダウンロードするのではなく、ユーザが処理したいデータやコンテンツをユーザ端末に常駐させたまま、ネットワークのサーバを介して選択した処理を対象とするデータやコンテンツに施し得ることを目的とする。

【0008】

そして、本発明は、ユーザ端末に全てのエフェクト処理のデータを予め搭載することなく、ネットワークを介してデジタルデータのエフェクト処理をユーザ端末に効率的に提供し得るネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理方法およびシステム、エフェクトサーバおよびユーザ端末とネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理プログラムを記録した記録媒体、エフェクトサーバおよびユーザ端末における処理プログラムを記録した記録媒体を提供することを目的としている。

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、請求項1記載の本発明は、ユーザ端末に保存されているデジタルデータに対してネットワークを介してエフェクト（効果）処理を施

すネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理方法であって、前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施すための処理プログラム（エフェクトエンジン）を呼び出すためにWWWブラウザ上で動作する呼び出しプログラム（Java アプレット）と、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応した複数のエフェクトデータとが格納されたエフェクトサーバがウェブサーバを介してインターネットに接続されており、前記WWWブラウザと前記処理プログラムとが格納された前記ユーザ端末の前記WWWブラウザを起動して、前記インターネット及び前記ウェブサーバを介して前記エフェクトサーバに接続するステップと、前記エフェクトサーバに格納されている複数種類のエフェクト処理の内容を前記WWWブラウザを使用して表示するステップと、前記複数種類のエフェクト処理から所望のエフェクト処理を選択するステップと、前記呼び出しプログラムと所望のエフェクト処理に対応したエフェクトデータを前記エフェクトサーバから前記ユーザ端末にダウンロードするステップと、前記ユーザ端末において、ダウンロードした前記呼び出しプログラムを使用して前記処理プログラムを呼び出し、前記デジタルデータに対して前記所望のエフェクト処理を施して出力するステップと、を有することを要旨とする。

## 【0010】

請求項1記載の本発明にあつては、従来のオンラインによる画像サービスのようにな画像データを予めサーバに保存し、利用する際にユーザ端末にダウンロードする必要がなく、ユーザがエフェクト処理したいデジタルデータをユーザ端末に常駐させたまま、ネットワークのサーバを介して選択したエフェクト処理を対象のデジタルデータに施すことができる。また、ユーザはオンラインによって必要なエフェクト機能を必要時に利用でき、例えば市販の画像処理ソフトを購入しなくてもオンラインで画像処理を行うことができるようになる。

## 【0011】

また、請求項2記載の本発明は、ユーザ端末に保存されているデジタルデータに対してネットワークを介してエフェクト（効果）処理を施すネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理システムであつて、前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施すための処理プログラム（エフェクトエンジン）を呼び出

すためにWWWブラウザ上で動作する呼び出しプログラム（J a v a アプレット）と、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応した複数のエフェクトデータとが格納されたエフェクトサーバと、前記エフェクトサーバに接続され、インターネットを介して接続される端末内の前記WWWブラウザで表示可能なデータを提供するためのWWWアプリケーションを有するウェブサーバと、前記WWWブラウザと前記処理プログラムとを格納し、前記WWWブラウザを使用することでインターネットを介して前記ウェブサーバに接続される前記ユーザ端末とを備え、前記ユーザ端末において、前記エフェクトサーバに格納されている複数種類のエフェクト処理の内容を前記WWWブラウザを使用して表示し、前記呼び出しプログラムと選択された所望のエフェクト処理に対応したエフェクトデータとをダウンロードして前記呼び出しプログラムによって前記処理プログラムを呼び出すことにより、前記ユーザ端末に格納されている前記デジタルデータに対して前記所望のエフェクト処理を施して出力することを要旨とする。

#### 【0012】

請求項2記載の本発明にあっては、従来のオンラインによる画像サービスのようにな画像データを予めサーバに保存し、利用する際にユーザ端末にダウンロードする必要がなく、ユーザがエフェクト処理したいデジタルデータをユーザ端末に常駐させたまま、ネットワークのサーバを介して選択したエフェクト処理を対象のデジタルデータに施すことができる。また、ユーザはオンラインによって必要なエフェクト機能を必要時に利用でき、例えば市販の画像処理ソフトを購入しなくてもオンラインで画像処理を行うことができるようになる。

#### 【0013】

更に、請求項3記載の本発明は、サービス提供者端末に保存されているデジタルデータに対してユーザ端末からの処理要求によりネットワークを介してエフェクト（効果）処理を施すネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理システムであって、前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施すための処理プログラム（エフェクトエンジン）を呼び出すためにWWWブラウザ上で動作する呼び出しプログラム（J a v a アプレット）と、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応した複数のエフェクトデータとが格納されたエフェクトサーバと、前

記エフェクトサーバに接続され、インターネットを介して接続される端末内の前記WWWブラウザで表示可能なデータを提供するためのWWWアプリケーションを有するウェブサーバと、前記WWWブラウザと前記処理プログラムとを格納し、前記WWWブラウザを使用することでインターネットを介して前記ウェブサーバに接続される前記サービス提供者端末と、前記サービス提供者端末にインターネットを介してエフェクト処理に関する処理要求を行う前記ユーザ端末とを備え、前記サービス提供者端末は、前記ユーザ端末から送信される処理要求にしたがって、前記エフェクトサーバに格納されている複数種類のエフェクト処理の内容を前記WWWブラウザを使用して表示し、前記呼び出しプログラムと選択された所望のエフェクト処理に対応したエフェクトデータとをダウンロードして前記呼び出しプログラムによって前記処理プログラムを呼び出すことにより、前記サービス提供者端末に格納されている前記デジタルデータに対して前記所望のエフェクト処理を施して出力することを要旨とする。

## 【 0 0 1 4 】

請求項 3 記載の本発明にあっては、サービス提供者端末ではデジタルデータに対するデジタルデータ処理をユーザ端末からの処理要求に応じて実施することができる。

## 【 0 0 1 5 】

請求項 4 記載の本発明は、ユーザ端末に保存されているデジタルデータに対してエフェクト（効果）処理を施すための複数種類のエフェクトデータが蓄積されたエフェクトサーバであって、WWWブラウザ上で動作し、前記ユーザ端末に保存されている前記デジタルデータに対して、エフェクト処理を施すために前記ユーザ端末に保存されている処理プログラム（エフェクトエンジン）を呼び出すための呼び出しプログラム（J a v a アプレット）を格納している呼び出しプログラム格納手段と、前記ユーザ端末に保存されている前記処理プログラムでエフェクト処理を行うためのエフェクトデータが、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応する複数のエフェクトデータとして格納されているエフェクトデータ格納手段と、ネットワークを介して要求されたエフェクトデータと前記呼び出しプログラムとを、ネットワークを介して要求した端末に対して送信するように制御する



送信制御手段と、を有することを要旨とする。

【 0 0 1 6 】

請求項 4 記載の本発明にあつては、ネットワークにウェブサーバを介して接続されたエフェクトサーバは呼び出しプログラムおよびエフェクトデータを蓄積していて、ユーザ端末からの要求に応じて呼び出しプログラムおよびエフェクトデータをユーザ端末にダウンロードし、ユーザ端末が保存するデジタルデータに対してネットワークを介してエフェクト処理をかけることができる。

【 0 0 1 7 】

また、請求項 5 記載の本発明は、自機内に保存されているデジタルデータに対してネットワークを介してエフェクト（効果）処理を施すネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理を行うユーザ端末であつて、前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施すための処理プログラム（エフェクトエンジン）を呼び出すために WWW ブラウザ上で動作する呼び出しプログラム（J a v a アプレット）と、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応した複数のエフェクトデータとが格納されたエフェクトサーバに接続されたウェブサーバにインターネットを介して接続する前記 WWW ブラウザと、前記呼び出しプログラムにより呼び出されて前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施す処理プログラムとを有し、前記エフェクトサーバに格納されている複数種類のエフェクト処理の内容を前記 WWW ブラウザを使用して表示し、前記呼び出しプログラムと選択された所望のエフェクト処理に対応したエフェクトデータとをダウンロードして前記呼び出しプログラムによって前記処理プログラムを呼び出すことにより、前記ユーザ端末に格納されている前記デジタルデータに対して前記所望のエフェクト処理を施して出力することを要旨とする。

【 0 0 1 8 】

請求項 5 記載の本発明にあつては、ユーザ端末はネットワークを介してエフェクトサーバから、所望のエフェクトデータを選択してダウンロードし、選択したエフェクトデータに対応するエフェクト処理をユーザ端末が保存しているデジタルデータのうちの所望のデジタルデータにかけることができる。

【 0 0 1 9 】

更に、請求項 6 記載の本発明は、ユーザ端末に保存されているデジタルデータに対してネットワークを介してエフェクト（効果）処理を施すネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理プログラムを記録した記録媒体であって、前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施すための処理プログラム（エフェクトエンジン）を呼び出すために WWW ブラウザ上で動作する呼び出しプログラム（J a v a アプレット）と、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応した複数のエフェクトデータとが格納されたエフェクトサーバが接続されたウェブサーバに対して、前記 WWW ブラウザと前記処理プログラムとが格納された前記ユーザ端末の前記 WWW ブラウザを起動して接続するステップと、前記エフェクトサーバに格納されている複数種類のエフェクト処理の内容を前記 WWW ブラウザを使用して表示するステップと、前記複数種類のエフェクト処理から所望のエフェクト処理を選択するステップと、前記呼び出しプログラムと所望のエフェクト処理に対応したエフェクトデータを前記エフェクトサーバから前記ユーザ端末にダウンロードするステップと、前記ユーザ端末において、ダウンロードした前記呼び出しプログラムを使用して前記処理プログラムを呼び出し、前記デジタルデータに対して前記所望のエフェクト処理を施して出力するステップと、を有することを要旨とする。

## 【 0 0 2 0 】

請求項 6 記載の本発明にあつては、選択したエフェクトデータに対応するエフェクト処理をユーザ端末が保存している所望のデジタルデータにかけるネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理プログラムを記録媒体に記録しているため、該記録媒体を用いて、その流通性を高めることができる。

## 【 0 0 2 1 】

請求項 7 記載の本発明は、ユーザ端末に保存されているデジタルデータに対してエフェクト（効果）処理を施すための複数種類のエフェクトデータが蓄積されたエフェクトサーバにおける処理プログラムを記録した記録媒体であって、WWW ブラウザ上で動作し、前記ユーザ端末に保存されている前記デジタルデータに対して、エフェクト処理を施すために前記ユーザ端末に保存されている処理プログラム（エフェクトエンジン）を呼び出すための呼び出しプログラム（J a v a

アプレット)を格納し、前記ユーザ端末に保存されている前記処理プログラムでエフェクト処理を行うためのエフェクトデータが、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応する複数のエフェクトデータとして格納し、ネットワークを介して要求されたエフェクトデータと前記呼び出しプログラムとを、ネットワークを介して要求した端末に対して送信するように制御することを要旨とする。

## 【0022】

請求項7記載の本発明にあっては、ネットワークにウェブサーバを介して接続されたエフェクトサーバにおいて、ユーザ端末からのエフェクトデータをユーザ端末にダウンロードし、ユーザ端末が保存するデジタルデータに対してネットワークを介してエフェクト処理をかけることができる処理プログラムを記録媒体に記録しているため、該記録媒体を用いて、その流通性を高めることができる。

## 【0023】

また、請求項8記載の本発明は、自機内に保存されているデジタルデータに対してネットワークを介してエフェクト(効果)処理を施すネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理を行うユーザ端末における処理プログラム(エフェクトエンジン)を記録した記録媒体であって、WWWブラウザ上で動作する呼び出しプログラム(J a v a アプレット)によって呼び出され、複数種類のエフェクト処理にそれぞれ対応した複数のエフェクトデータとが格納されたエフェクトサーバからインターネットを介して送信された所望のエフェクト処理に対応したエフェクトデータを使用して前記デジタルデータに対してエフェクト処理を施して出力するとを要旨とする。

## 【0024】

請求項8記載の本発明にあっては、ユーザ端末はネットワークを介してエフェクトサーバからダウンロードした所望のエフェクトデータを使用して、ユーザ端末が保存しているデジタルデータのうちの所望のデジタルデータにエフェクト処理をほどこす処理プログラムを記録媒体に記録しているため、該記録媒体を用いて、その流通性を高めることができる。

## 【0025】

## 【発明の実施の形態】

以下、図面を用いて本発明の実施の形態を説明する。図 1 は、本発明の一実施形態に係るネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理方法を実施するシステムの構成を示す図である。同図においては、インターネット 1 にウェブサーバ 7 を介してエフェクトサーバである F X サーバ 9 が接続されており、ウェブサーバ 7 又は F X サーバ 9 を介して、決済サーバ 1 1 が接続されている。そして、インターネットには、さらに複数のクライアント P C からなるユーザ端末 3 a ～ 3 c および複数のサービス提供者端末 5 a ～ 5 d が接続されている。

## 【 0 0 2 6 】

ウェブサーバ 7 は、WWW ブラウザ 3 1 で表示可能な H T M L データ（ホームページのデータ）を提供する WWW アプリケーション 7 1 を有し、該 WWW アプリケーション 7 1 を介して F X サーバ 9 がインターネット 1 に接続されている。F X サーバ 9 は、各ユーザ端末 3 の履歴などを保存管理するユーザデータベース 9 1、エフェクトエンジンなどからなるエフェクト処理アプリケーション、J a v a アプレットなどの各種アプリケーションを蓄積しているアプリケーションデータベース 9 3、エフェクト処理アプリケーションで使用するエフェクトデータを蓄積しているエフェクトデータベース 9 5 を有する。

## 【 0 0 2 7 】

図 1 に示す本実施形態のネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理システムは、インターネット 1 上でデジタルデータのエフェクト処理を各ユーザ端末 3 に対して提供するものである。具体的にはエフェクトサーバである F X サーバ 9 のアプリケーションデータベース 9 3 に蓄積されているエフェクト処理アプリケーションをウェブサーバ 7 からインターネット 1 を介してユーザ端末 3 にダウンロードし、このユーザ端末 3 において当該エフェクト処理アプリケーションを用いてユーザ端末 3 自身が保存している画像などのデジタルデータに対してエフェクト処理をかけようとするものであり、図 1 に示すようにユーザ端末 3 a の WWW ブラウザ 3 1 には F X サーバ 9 からダウンロードされたエフェクト処理アプリケーション 3 3 が搭載されている。

## 【 0 0 2 8 】

ユーザ端末 3 は、WWW ブラウザ 3 1 を使用して指定されたウェブサーバ 7

にアクセスし、前記エフェクト処理アプリケーション 33、特に該エフェクト処理アプリケーション 33 を構成するエフェクトエンジンを起動させるための WWW ブラウザ 31 用のアプリケーションである J a v a アプレットを F X サーバ 9 のアプリケーションデータベース 93 から読み出し、WWW ブラウザ 31 でデジタルデータにエフェクトをかけるエフェクト処理アプリケーション 33 を操作することができる。ユーザ端末 3 はエフェクトデータを保有する F X サーバ 9 のエフェクトデータベース 95 にウェブサーバ 7 を介してアクセスし、エフェクトを直接選択する。すなわち、ウェブサーバ 7 はユーザ端末 3 によって選択されたエフェクトを F X サーバ 9 のエフェクトデータベース 95 から読み出し、ユーザ端末 3 に返信する。ユーザ端末 3 では、自己の保有するデジタルデータにエフェクトをかけながら、その状態をディスプレイでプレビューすることができる。

## 【 0 0 2 9 】

なお、エフェクト処理の対象は、具体的にはデジタルカメラで生成された画像データなどであり、この場合は静止画を対象とする処理（表現方法、カラーライズ、変形、フレーム効果など）のほかに動画処理がある。また、W A V E データや M I D I データなどの音声データ処理も考えられる。また、エフェクトエンジンは、C D - R O M 等の記録媒体に記録して配布することも可能である。

## 【 0 0 3 0 】

サービス提供者端末 5 は、基本的にはユーザ端末 3 と同様な構成を有し、ユーザ端末 3 と同様にウェブサーバ 7 を介して F X サーバ 9 からエフェクト処理アプリケーションをダウンロードし、サービス提供者端末 5 a に示すようにサービス提供者端末 5 a の WWW ブラウザ 51 には F X サーバ 9 からダウンロードされたエフェクト処理アプリケーション 53 が搭載されているが、ユーザ端末 3 が自分自身に保存している画像などのデジタルデータに対してエフェクト処理を行うのに対して、サービス提供者端末 5 はユーザに代わって処理を行う業者の端末であり、ユーザ端末 3 から受け取ったデジタルデータに対して、ユーザ端末 3 からの要求に応じたエフェクト処理および印刷処理などの処理をサービスとして提供するものである。すなわち、サービス提供者端末 5 は、予めユーザが保有するデジタルデータをインターネット 1 又は記録媒体等を介して入手し、インターネッ

ト 1 を介してそのユーザのユーザ端末 3 からの処理要求を受け取って、要求内容にしたがってデジタルデータにエフェクトをかけ、このエフェクトをかけたデジタルデータに印刷処理などの更なる他のサービスを付加してユーザに返却するものである。

#### 【 0 0 3 1 】

図 2 は、図 1 に示すデジタルデータのエフェクト処理システムにおける基本的な処理の流れを示す図であるが、同図に示すように、ユーザ端末 3 は F X サーバ 9 からエフェクト処理を受ける前にユーザ登録をウェブサーバ 7 の WWW アプリケーション 7 1 を介して F X サーバ 9 のユーザデータベース 9 1 に行い、また F X サーバ 9 にアクセスする毎に当該ユーザ端末 3 が登録したユーザ端末であるか否かについての認証が行われるようになっている。

#### 【 0 0 3 2 】

このようにユーザ登録が行われたユーザ端末 3 は、当該ユーザ端末が保存するデジタルデータに対してエフェクト処理をかけるために、WWW ブラウザ 3 1 からエフェクト処理アプリケーションを構成するエフェクトエンジンのダウンロード要求をウェブサーバ 7 の WWW アプリケーション 7 1 に行い、これに対して F X サーバ 9 のアプリケーションデータベース 9 3 からエフェクトエンジンが送信され、ユーザ端末 3 にエフェクト処理アプリケーション 3 3 がインストールされる。ユーザ端末 3 は WWW ブラウザ 3 1 を使用してエフェクトサイト（エフェクト処理内容が紹介されているホームページ）にアクセスし、F X サーバ 9 のエフェクトデータベース 9 5 から所望のエフェクト処理を選択すると、J a v a アプレットが送信されて起動し、エフェクトファイルがユーザ端末 3 にダウンロードされる。

#### 【 0 0 3 3 】

次に、図 3 ～図 5 に示すシーケンス図および図 6 に示すフローチャートを参照して、図 1 に示す実施形態の作用について説明する。

#### 【 0 0 3 4 】

まず、図 3 に示すように、ユーザ端末 3 がエフェクトエンジンの要求を WWW ブラウザ 3 1 からウェブサーバ 7 の WWW アプリケーション 7 1 を介して F X

サーバ9に行くと、ユーザ認証が行われ、エフェクトエンジンの要求を行ってきたユーザ端末3を使用しているユーザが登録済みのユーザであるか否かが認証される。ユーザ端末3を使用しているユーザが登録済みのユーザである場合には、FXサーバ9のアプリケーションデータベース93に蓄積されているエフェクトエンジン93aがWWWアプリケーション71を介してユーザ端末3にダウンロードされ、ユーザ端末3にWWWブラウザ31によって起動されるエフェクトエンジン33aとしてインストールされる。また、このようなユーザ端末3からのエフェクトエンジンの要求、ダウンロードはユーザ端末3の利用履歴としてユーザデータベース91に記録される。

## 【0035】

上述したように、エフェクトエンジン33aがWWWブラウザ31にダウンロードされると、次にユーザ端末3は図6のフローチャートに示すようにWWWブラウザ31を使用し、エフェクトサイトにアクセスするためにサイトを選択し、この選択したサイトが表示される（ステップS11，S13，S15）。なお、図6に示すフローチャートは、エフェクトエンジン33aが既にユーザ端末3のWWWブラウザ31にインストールされている状態から開始するようになっているものである。

## 【0036】

ユーザ端末3がサイトを選択すると、図4に示すように、この選択されたエフェクトサイトにアクセスが行われ、ウェブサーバ7のWWWアプリケーション71が起動され（ステップS17）、該WWWアプリケーション71からFXサーバ9のアプリケーションデータベース93に対してJavaアプレット93cの読み出しが行われる。アプリケーションデータベース93から読み出されたJavaアプレット93cはWWWアプリケーション71を介してユーザ端末3のWWWブラウザ31上に送信され、これによりエフェクトエンジン33aが起動される（ステップS19）。なお、このようなJavaアプレットの読み出しや送信などの処理はユーザ端末3の利用履歴としてユーザデータベース91に逐次記録される。

## 【0037】

ユーザ端末3にインストールされたエフェクトエンジン33aが起動されると、ユーザ端末3においてエフェクト処理をかけようとするデジタルデータである例えば画像データがサムネイル表示された中から検索され（ステップS21、S23）、エフェクト処理の対象である画像が選択され（ステップS25）、この選択された画像データがピックアップされてプレビューされる（ステップS27、S29）。

## 【0038】

エフェクト処理をかける対象画像が選択されると、図5に示すように、この画像に対してどのようなエフェクト処理をかけるかを選択するために（ステップS31）例えば図8、図9に示すように画面左側にエフェクト処理のカテゴリが表示され、選択されたカテゴリに含まれるエフェクト処理内容を示すサムネイルが複数表示される（ステップS33、S35）。なお、図9に示すエフェクトのサムネイルでは、図9の画面のほぼ中央に一例として示すように星型、円形、矩形などのフレームのものが表示され、その下の列に、さらに異なるエフェクト処理の内容が表示されている。

## 【0039】

このようにサムネイル表示された複数のエフェクトの中から所望のエフェクトを選択すると（ステップS37）、この選択されたエフェクトのIDが指定されて該当するエフェクト内容が読み出され（ステップS39）、この指定されたエフェクトがユーザ端末3において選択されたエフェクトとして表示される（ステップS41）。さらに、このエフェクト指定情報はウェブサーバ7のWWWアプリケーション71に伝達され、WWWアプリケーション71からFXサーバ9に対してエフェクトデータファイルの検索が行われ、FXサーバ9のエフェクトデータベース95から該当するエフェクトデータ95aが読み出され（ステップS43）、このエフェクトデータファイルがユーザ端末3にダウンロードされ（ステップS45）、ユーザ端末3にエフェクトデータ33bとして格納される。また、このようなエフェクトデータファイルのダウンロードなどの処理もユーザ端末3の利用履歴情報としてユーザデータベース91に記録される。

## 【0040】



このようにユーザ端末3にエフェクトデータ33bが格納されると、先にインストールされているエフェクトエンジン33a、Javaアプレット33cからなるエフェクト処理アプリケーション33によりユーザ端末3で選択された画像データに対してエフェクト処理が行われ、このエフェクト処理された画像をプレビューすることができる（ステップS47、S49）。

#### 【0041】

ユーザ端末3では、このプレビューされたエフェクト処理画像を閲覧して、エフェクト処理が満足するものであるか否かをユーザが判断する（ステップS51）。エフェクト処理が満足しないものである場合には、現在のエフェクト処理をキャンセルしてステップS37に戻って、エフェクトの選択から再度同じ処理を繰り返し行うが、エフェクト処理が満足するものである場合には、画像をハードディスク等の記録媒体に保存し（ステップS53）、WWWブラウザ31を終了するかまたはサイトから脱出し、本エフェクト処理アプリケーションを終了する（ステップS55）。

#### 【0042】

なお、図6に示す処理では、ステップS25で対象とする画像を選択した後、ステップS37でこの選択した画像にかけるエフェクトを選択するようにしているが、この手順を逆にして、最初にエフェクトを選択し（ステップS31～S45）、その後で画像を選択する（ステップS21～S29）ようにしてもよいものである。

#### 【0043】

次に、図7を参照して、本実施形態のサービス例について説明する。上述したように、ユーザ端末3はウェブサーバ7のWWWアプリケーション71を介してFXサーバ9にアクセスし、該FXサーバ9からエフェクト処理アプリケーションをダウンロードして、ユーザ端末3自身が所有する画像データにエフェクト処理を行うことができるようになるが、サービス提供者端末5も前述したようにウェブサーバ7のWWWアプリケーション71を介してFXサーバ9にアクセスしてFXサーバ9からエフェクト処理アプリケーションをダウンロードし、エフェクト処理を行うことができるようになる。しかしながら、サービス提供者端

末5は、このエフェクト処理を他のユーザ端末3からの要求に対して使用する。また、サービス提供者端末5はこのようなエフェクト処理に加えて、ユーザ端末3からの要求に応じてユーザ端末3から提供される画像データに対してE D Pサービス、プリントサービス、グッズサービスなどを行うことができるようになっている。

## 【 0 0 4 4 】

すなわち、ユーザ端末3は、上述したようにエフェクト処理を行った画像データをウェブサーバ7のWWWアプリケーション71にアップロードするとともに、この画像データに対する例えばプリントサービスなどのサービス要求を図7に示すようにウェブサーバ7のWWWアプリケーション71に行うと、WWWアプリケーション71はこのサービス要求に応じてプリントサービスなどのサービス請求をサービス提供者端末5のWWWブラウザ51に行うとともに、ユーザ端末3から受け取った画像データをサービス提供者端末5にダウンロードする。サービス提供者端末5は、このサービス請求を受け取ると、このサービス請求に対応する例えばプリントサービスなどの処理を画像データに行って出力する。

## 【 0 0 4 5 】

すなわち、サービス提供者端末5は、ユーザ端末3からの要求に応じてデジタルデータに対してウェブサーバ7及びF Xサーバ9を利用してエフェクトをかけるとともに、指定されたプリントサービスなどのサービスを行って出力することができるものである。

## 【 0 0 4 6 】

なお、上記実施形態では、F Xサーバ9のユーザデータベース91には上述したようにユーザ端末3の利用履歴が逐次記録されるが、このユーザデータベース91に記録されたユーザ端末3の利用履歴におけるユーザ端末が選択したデジタルデータエフェクト処理の利用頻度の高いものを次回以降簡単に選択できるように各ユーザ端末3ごとの「お気に入り」フォルダをウェブサーバ7又はF Xサーバ9のサイト上に作成することも可能である。

## 【 0 0 4 7 】

上述したように、ユーザ端末3はデジタルデータにエフェクト処理をかける場

合に F X サーバ 9 からエフェクトエンジンおよびエフェクトデータをダウンロードし、このダウンロードしたエフェクトエンジンおよびエフェクトデータを用いて、対象とするデジタルデータにエフェクト処理をかけるが、この場合のエフェクト処理におけるエフェクトデータの使用は、1 回のダウンロードにつき 1 回のみの使用可能であるように制限を設けるようにすることによりエフェクトデータの使用毎に課金を行うようにすることが可能となる。

## 【 0 0 4 8 】

なお、上記実施形態では、エフェクト処理アプリケーション 3 3 をエフェクトエンジンと J a v a アプレットで構成するとともに、エフェクト処理をデータファイルで作成しているため、このエフェクトデータのみのダウンロードでユーザ端末に記録されているデジタルデータに対してエフェクト処理を行うことができる。従って、エフェクト処理はアプリケーションソフトの中の機能として組み込まれているのではなく、エフェクト処理を行うデータファイルとして管理しているので、オンラインで必要なエフェクト処理データのみをダウンロードして保存することによって使用可能であり、また、そのときにエフェクトデータのみの追加および削除を容易に行うことも可能である。

## 【 0 0 4 9 】

更に、サーバ上に記録されたエフェクト処理データファイルとサイトに表示されたエフェクト処理データ情報とは、それぞれ対応する I D を有しているので、サービスを依頼するユーザとサービスを受けるユーザは実際にエフェクト処理を行ったデジタルデータをやり取りする必要はなく、ネットワーク上でサービス対象の I D のみをやり取りすればよい。この時、エフェクト処理の対象となるデジタルデータ、例えばデジタルカメラで生成された画像データなどは、ネットワークでユーザ端末 3 からサービス提供者端末 5 に送信したり、外部のデジタルカメラの E D P サービスから、またはユーザが直接サービス提供者端末 5 に C D - R O M や M O などの記録媒体に保存して渡すなどの方法がある。

## 【 0 0 5 0 】

また、複数のエフェクト処理を行う場合には、エフェクト処理データと I D が一緒にユーザ端末にダウンロードされ、ユーザ端末でエフェクト I D テーブルを

作成するとともに、また処理対象のデジタルデータについてもユーザで選択された時点でIDを付加する。そして、各デジタルデータに対してのエフェクト処理はID同士の組み合わせで記録され、最終的に一括処理が選択された段階で順次処理を行っていくことにより、複数のエフェクト処理も可能である。

#### 【0051】

なお、上記実施形態のエフェクト処理方法の処理手順をプログラムとして記録媒体に記録して、この記録媒体をコンピュータシステムに組み込むとともに、該記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータシステムにダウンロードまたはインストールし、該プログラムでコンピュータシステムを作動させることにより、エフェクト処理方法を実施するエフェクト処理システムとして機能させることができることは勿論であり、このような記録媒体を用いることにより、その流通性を高めることができるものである。

#### 【0052】

##### 【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、従来のオンラインによる画像サービスのように画像データを予めサーバに保存し、利用する際にユーザ端末にダウンロードする必要がなく、ユーザがエフェクト処理したいデジタルデータをユーザ端末に常駐させたまま、ネットワークのサーバを介して選択したエフェクト処理を対象のデジタルデータに対して効率的に施すことができる。また、ユーザはオンラインによって必要なエフェクト機能を必要時に利用でき、例えば市販の画像処理ソフトを購入しなくてもオンラインで画像処理を行うことができるようになる。更に、市販ソフトはほとんどがパソコンで稼動させるものであるが、本発明ではエフェクトエンジンが搭載されており、WWWブラウザでJavaアプレットを起動すれば、市販のソフトを用いる必要がないとともに、必要なエフェクト機能だけをネットワークから選んで利用することにより、常にユーザ端末にソフトを常駐させることによりユーザ端末の負担も軽減され、また画像を取り込めてオンラインに接続できる端末、例えばCCDカメラ付きでウェブサーバにアクセスできる携帯電話などでも利用可能になる。また、ユーザ端末においては、エフェクト処理をかける対象のデジタルデータとして複数まとめて選択することによ

り、各デジタルデータにそれぞれ必要とするエフェクト処理を複数同時に行うことも可能である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施形態に係るネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理方法を実施するシステムの構成を示す図である。

【図 2】

図 1 に示す実施形態のデジタルデータのエフェクト処理システムにおける基本的な処理の流れを示す図である。

【図 3】

図 1 に示す実施形態のデジタルデータのエフェクト処理システムの作用の一部を示すシーケンス図である。

【図 4】

図 1 に示す実施形態のデジタルデータのエフェクト処理システムの図 3 に続く作用の一部を示すシーケンス図である。

【図 5】

図 1 に示す実施形態のデジタルデータのエフェクト処理システムの図 4 に続く作用の一部を示すシーケンス図である。

【図 6】

図 1 に示す実施形態のデジタルデータのエフェクト処理システムの全体的作用を示すフローチャートである。

【図 7】

図 1 に示す実施形態のデジタルデータのエフェクト処理システムのサービス例を示す図である。

【図 8】

図 1 に示す実施形態のデジタルデータのエフェクト処理システムにおけるエフェクトのサムネイル画面の一例を示す図である。

【図 9】

図 1 に示す実施形態のデジタルデータのエフェクト処理システムにおけるエフ

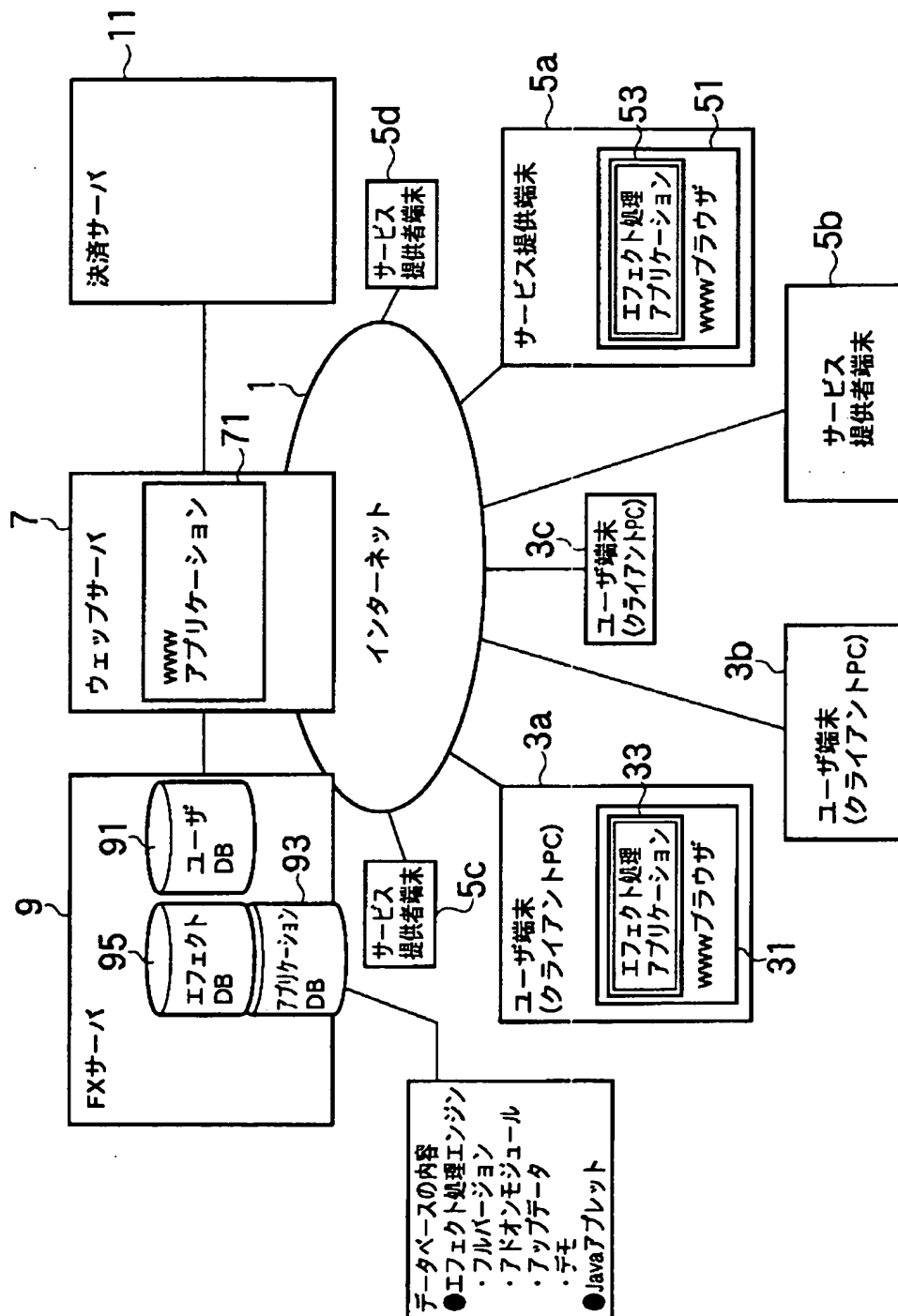
エクトのサムネイル画面の他の例を示す図である。

【符号の説明】

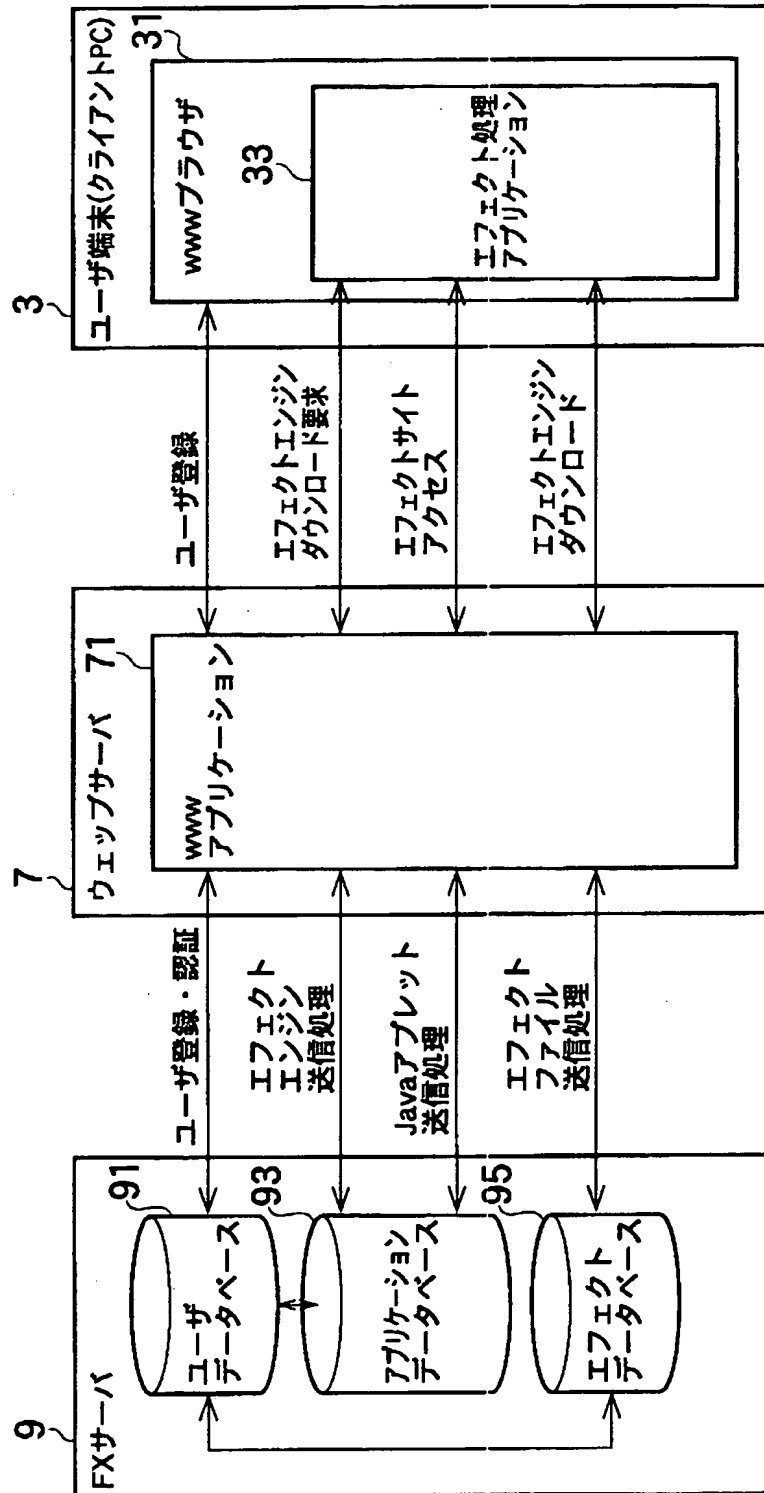
- 1 インターネット
- 3 ユーザ端末
- 5 サービス提供者端末
- 7 ウェブサーバ
- 9 F Xサーバ (エフェクトサーバ)
- 1 1 決済サーバ
- 3 1 WWWブラウザ
- 3 3 エフェクト処理アプリケーション
- 3 3 a エフェクトエンジン (処理プログラム)
- 3 3 c J a v a アプレット (呼び出しプログラム)
- 7 1 WWWアプリケーション
- 9 1 ユーザデータベース
- 9 3 アプリケーションデータベース
- 9 5 エフェクトデータベース

【書類名】 図面

【図 1】

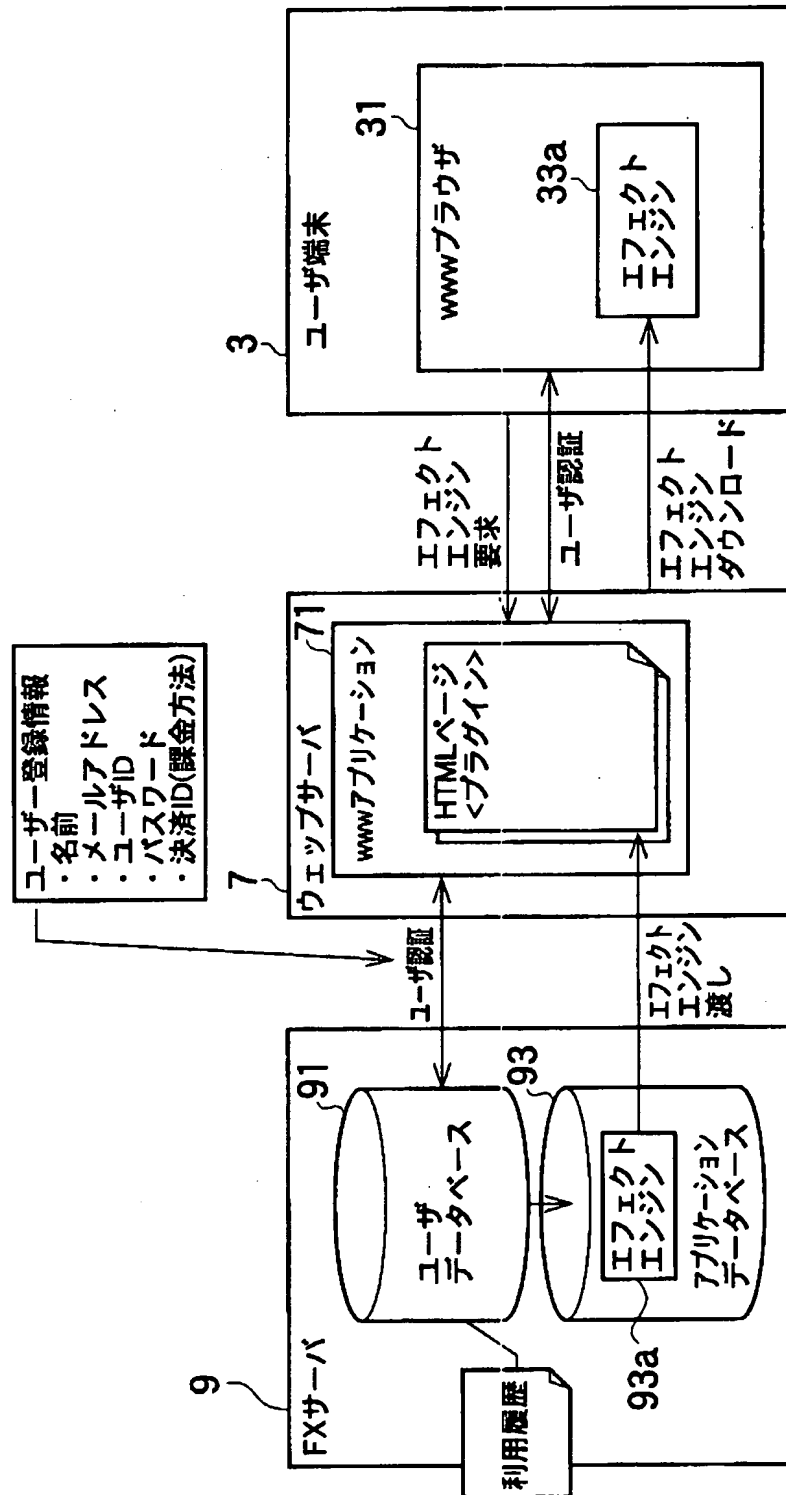


【図 2】

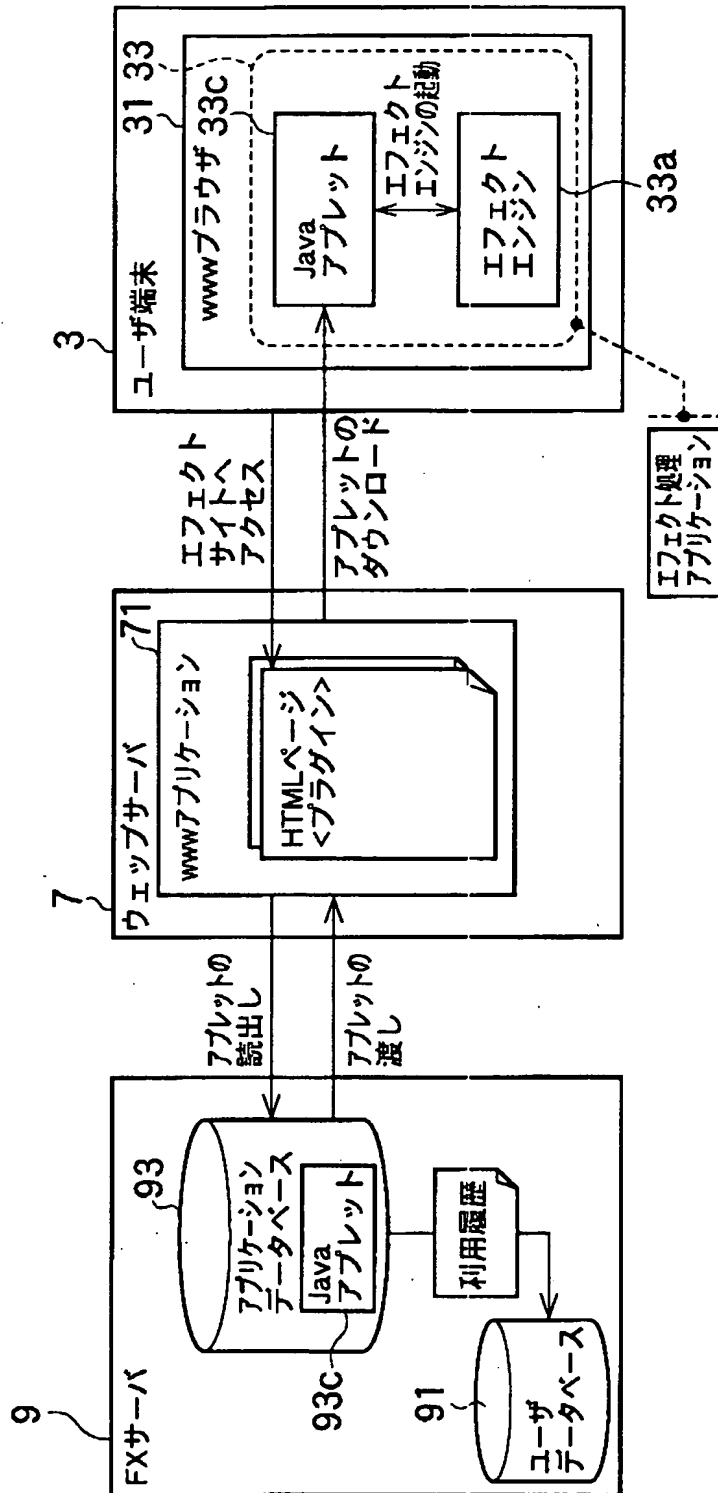




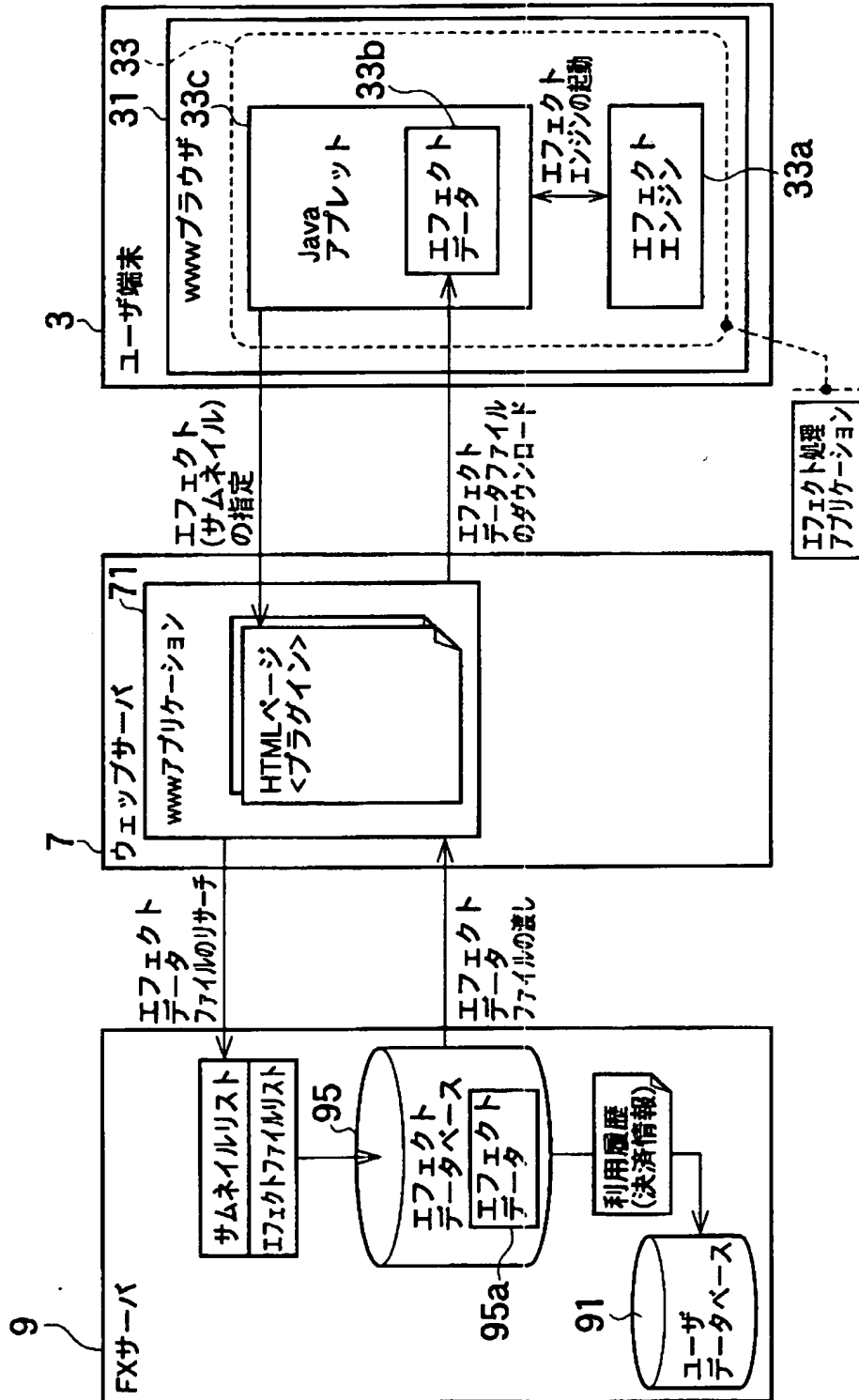
【図 3】



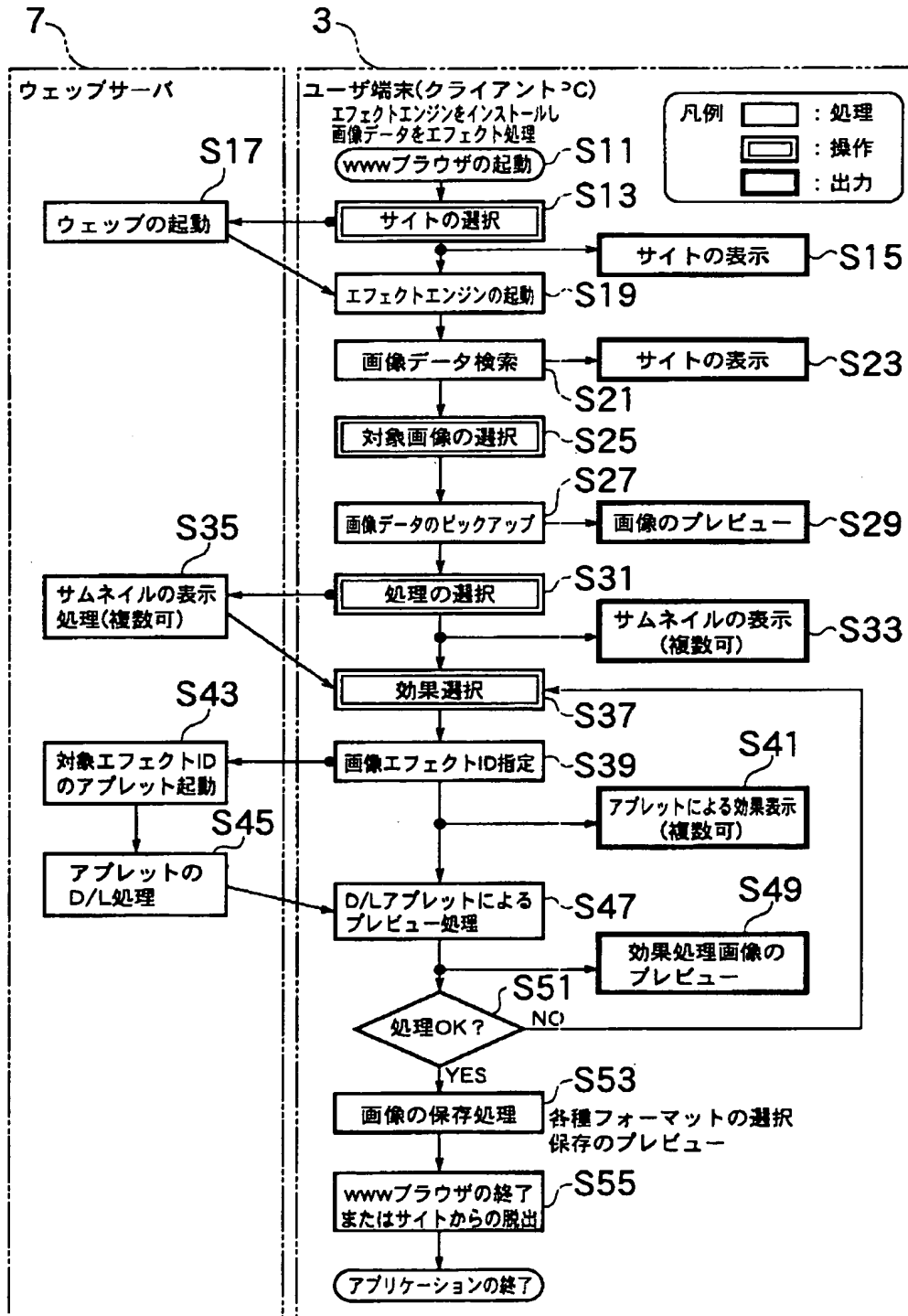
【図 4】



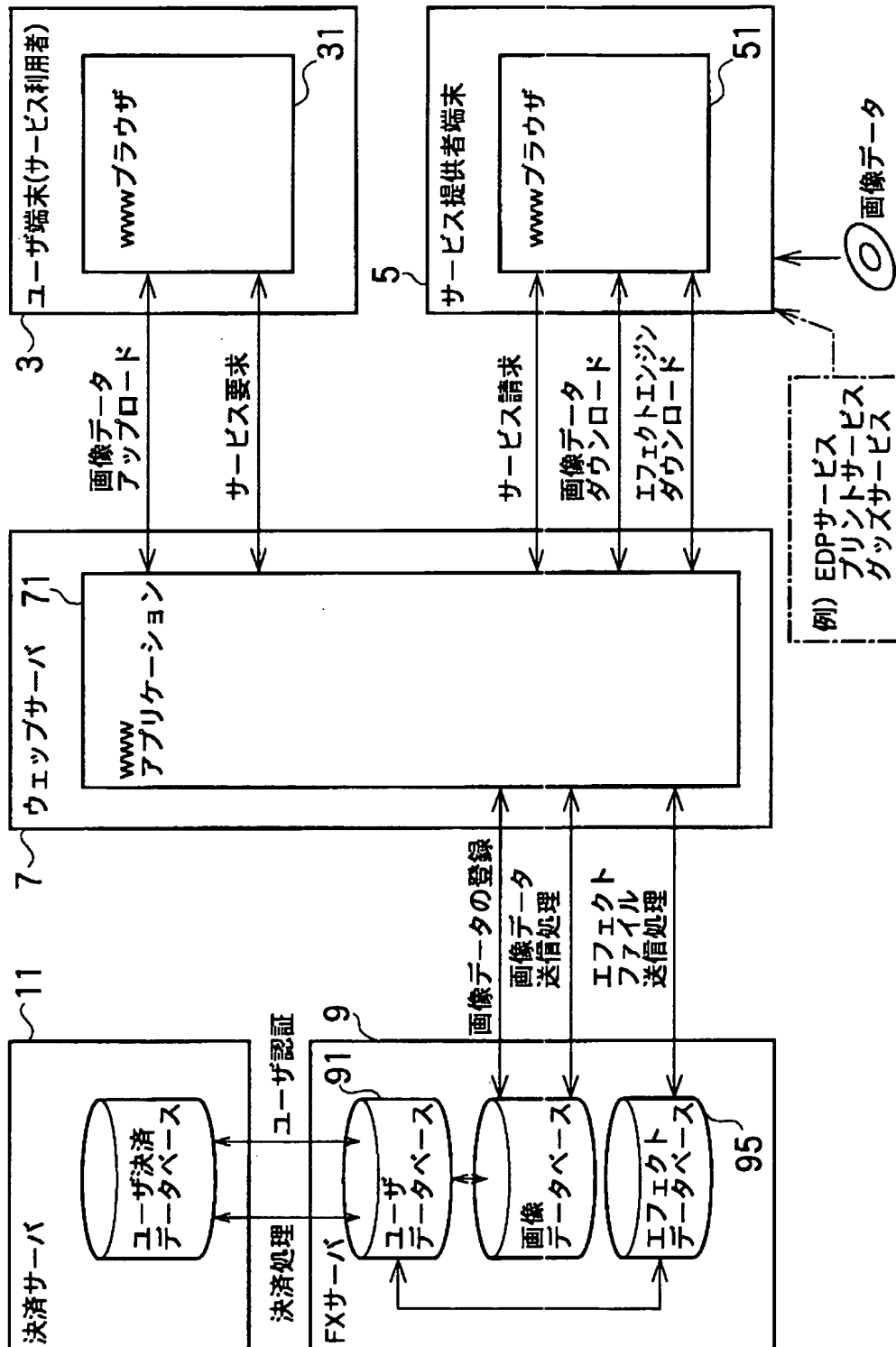
【図 5】



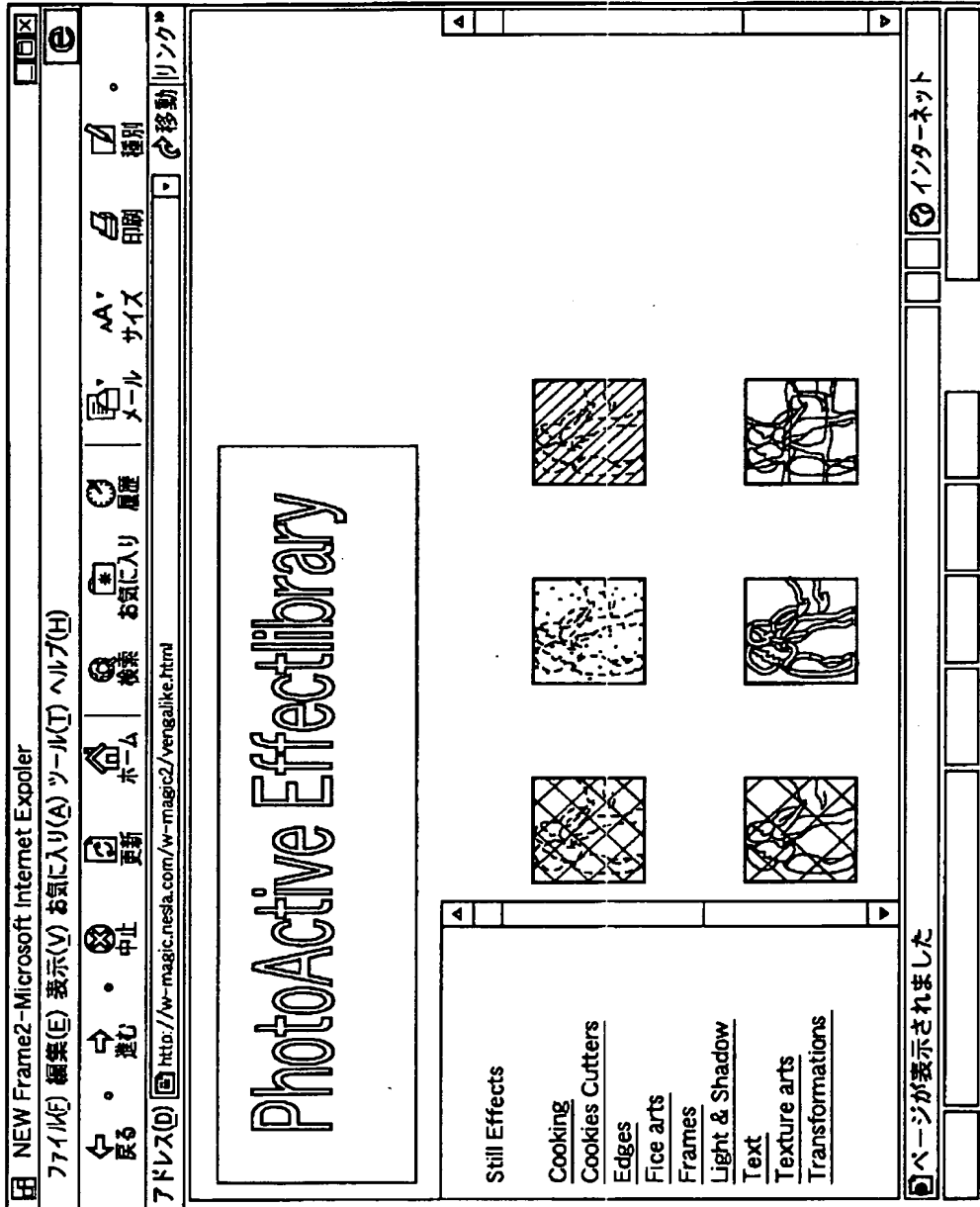
【図 6】



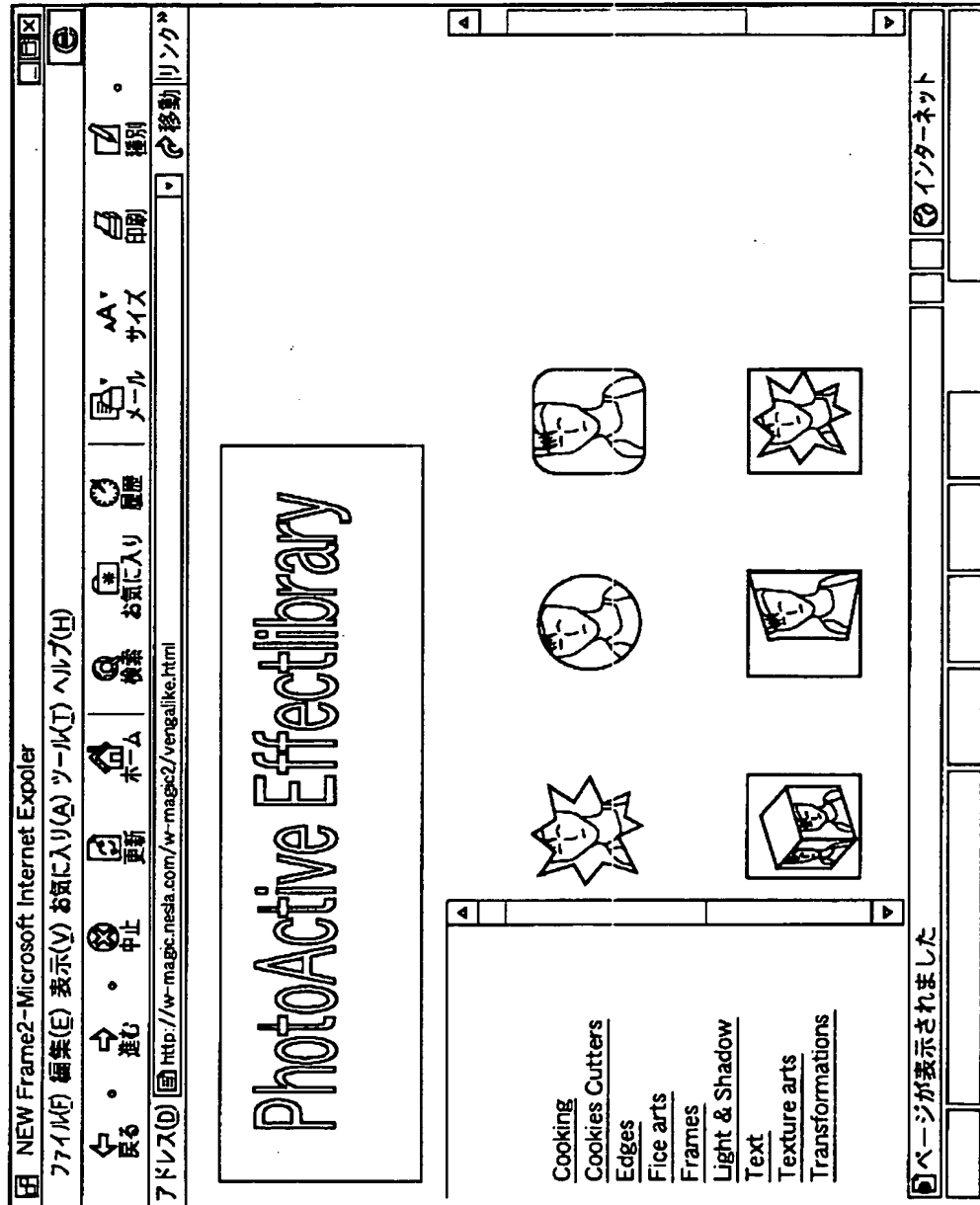
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 個々の処理データをユーザ端末に予め搭載することなく、ネットワークを介してデジタルデータのエフェクト処理をユーザ端末に効率的に提供し得るネットワークでのデジタルデータのエフェクト処理方法およびシステムを提供する。

【解決手段】 J a v a アプレットおよびエフェクトデータを備える F X サーバ 9 をウェブサーバ 7 を介してインターネット 1 に接続しておき、ユーザ端末 3 からインターネット 1 を介して F X サーバ 9 にアクセスし、 J a v a アプレットをユーザ端末 3 にダウンロードし、複数種類のエフェクトデータから所望のエフェクトデータを選択してダウンロードし、 J a v a アプレットでユーザ端末 3 内のエフェクトエンジンを起動して選択したエフェクトデータに対応するエフェクト処理をユーザ端末 3 が保存している所望のデジタルデータにかける。

【選択図】 図 5



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004329]

1. 変更年月日 1990年 8月 8日

[変更理由] 新規登録

住 所 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

氏 名 日本ビクター株式会社